

新潟市第8期地域包括ケア計画(介護保険事業計画)における認知症施策の取組方針と関連事業

認知症施策の推進

①正しい知識と理解の普及(普及啓発・本人発信支援)

取組方針	事業名	事業概要
<p>○認知症は誰もがなりうることを、様々な機会をとらえ普及啓発し、地域全体が認知症への理解を深めていくため、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者となる「認知症サポーター」の養成を引き続き推進します。</p> <p>○より市民の理解が深まるよう、認知症本人が参画できる取組を検討していきます。</p>	1	認知症サポーターの養成 地域住民、企業、学校などを対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症の人や家族の応援者である「認知症サポーター」を養成します。
	2	キャラバン・メイトの養成 認知症サポーター養成講座の講師役となる「キャラバン・メイト」を養成します。
	3	市民向け講演会や出前講座の開催 認知症に関する正しい知識の普及を図ることを目的として市民向け講演会や出前講座を開催します。
	4	認知症ケアパス「認知症安心ガイドブック」の作成 認知症ケアパス(認知症安心ガイドブック)を作成・配布し、認知症の容態に合わせた適切なサービス提供の流れや相談機関を広く市民に周知・普及します。

②予防と社会参加(予防)

取組方針	事業名	事業概要
<p>○運動不足の改善、糖尿病や高血圧等の生活習慣病の予防、社会参加などが認知症の発症予防や進行を遅らせることに効果があるとされていることから、認知症に限らず、全ての高齢者への予防活動を引き続き推進していきます。</p> <p>○認知症カフェや地域の茶の間を通じた社会参加を促すことにより、社会的孤立の解消や生きがいづくりを進めていきます。</p>	5	認知症予防出前講座 認知症予防に効果的とされる運動、脳を使ったトレーニングのほか、栄養・口腔ケアなど総合的な介護予防メニューを身近な地域で実施します。
	6	フレイル予防事業 フレイルチェックを活用した予防事業を推進し、健康寿命の延伸を図ります。
	7	認知症カフェや地域の茶の間への支援 認知症カフェや地域の茶の間の運営を支援し、生きがいを持ちながら役割を果たせる環境づくりを進めます。

③医療・介護連携による切れ目のない支援(医療・ケア・介護サービス・介護者支援)

取組方針	事業名	事業概要
<p>○認知症は早期発見、早期診断、早期対応が大切なことから、引き続き在宅医療・介護連携を推進するとともに、医療介護関係者等の人材育成や介護サービス基盤を整備し、支援体制を強化していきます。</p>	8	認知症初期集中支援推進事業 認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を対象に、医療介護の専門職がその家庭を訪問し、必要な医療や介護サービスの導入や調整、家族支援などを包括的、集中的に行います。
	9	医療・介護関係者を対象とした研修会の実施 かかりつけ医、病院の従事者、介護実践者等を対象として、知識、技術の向上や認知症の人やその家族の対応等の研修を引き続き実施し、医療・介護の質の向上を図ります。
	10	認知症サポート医の養成 かかりつけ医、専門医療機関、地域包括支援センターなどと連携し、認知症に関わる地域医療体制構築の推進役となる「認知症サポート医」を養成します。

③医療・介護連携による切れ目のない支援（医療・ケア・介護サービス・介護者支援）

<p>○認知症は早期発見、早期診断、早期対応が大切なことから、引き続き在宅医療・介護連携を推進するとともに、医療介護関係者等の人材育成や介護サービス基盤を整備し、支援体制を強化していきます。</p>	11	認知症疾患対策事業	認知症疾患医療センターにおいて、認知症疾患に関する鑑別診断、急性期治療、専門医療相談などを実施するとともに、認知症ケアに関わる機関との連携強化を図り、認知症疾患の保健医療水準を向上させながら、認知症の人が相談しやすい環境を整えます。
	12	認知症地域支援・ケア向上事業	「認知症対策地域連携推進会議」を開催するとともに、「認知症地域支援推進員」を配置し、認知症施策の円滑な推進や、医療と介護の連携強化に取り組みます。
	13	グループホーム等整備推進事業	認知症になっても、住みなれた地域で介護サービスを受けながら暮らすことができるよう、グループホームや小規模多機能型居宅介護事業所等について、今後の認知症高齢者の増加状況や日常生活圏域の整備状況を踏まえながら整備を進めます。

④認知症に理解のある地域社会の実現（認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加）

取組方針		事業名	事業概要
<p>○認知症の人や家族が住み慣れた地域で暮らしていくことができるよう、認知症に理解ある人や認知症サポーターとともに、身近な地域における支援体制の構築を進めていきます。</p> <p>○また、若年性認知症の人が、適切な支援を受けられるよう、若年性認知症支援コーディネーターや医療機関等と連携を図りながら支援体制の構築を検討していきます。</p>	14	徘徊高齢者家族支援サービス事業	位置情報を把握できる小型通信機器を徘徊症状のある高齢者に携帯してもらうことで、高齢者の事故を防止し、家族の負担を軽減します。
	15	はいかいシルバーSOSネットワーク	行方不明高齢者の早期発見・早期保護とその後のケアを図るため、警察等関係機関と協力しながらネットワークの構築を進めます。
	16	認知症カフェや家族会への支援	認知症の人と介護者が共に安心して過ごせる居場所である認知症カフェや家族会の情報を発信するなど、その活動を支援します。
	17	認知症サポーターステップアップ講座	認知症の人や家族の支援者として活躍できるよう、意欲のある認知症サポーターを対象に講座を開催します。
	18	認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業	認知症の人が地域で安心して暮らせるよう、認知症の人や家族のニーズを認知症サポーターにつなぐ仕組み(チームオレンジ)を構築します。